

郷土愛が支える伝統文化



## 角兵衛獅子

(新潟市無形民俗文化財)

角兵衛獅子の舞は、月潟地区に伝わる伝統芸能である。烏毛の付いた獅子頭をかぶった子どもたちが笛や太鼓、口上に合わせて曲芸的な技を織り交ぜた多彩な舞を披露する。「金の鯨鈴(しゃちほこ)」「蟹(かに)の横ばい」「乱菊(らんぎく)」「唐子(からこ)人形お馬乗り」などの様々な技がある。江戸時代に最盛期を迎え、昭和初期に姿を消したが、地元の人々の努力により昭和11年に保存会が結成され、芸妓による獅子舞として復活。昭和30年代には子どもが演じる旧来の形となり今日まで継承されている。



## 白根大凧合戦

(新潟県無形民俗文化財)

信濃川の支流、中ノ口川の両岸から畳24枚分の大凧を揚げ、空中で絡ませて川に落とし、相手の凧網が切れるまで引き合う勇壮な合戦。凧合戦としては世界最大規模で、江戸時代の気迫を現代に伝える。開催は毎年6月の第1木曜日から5日間。中ノ口川兩岸や凧見橋、川に浮かべた観覧船から観戦できる。



Big Kite-making

